

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000234
事業所名	グループホームくらら

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、地域の大掃除では入居者と共に、施設周辺の清掃に汗を流している、地域の『津田夏祭り』『津田市民祭り』『白山梅まつり』には入居者と共に参加している。市の屋台祭りでは、豊橋公園内の夜店に入居者と連れ立って出かけている。地域住民を巻き込んだ施設行事の可能性を一年かけて検討する予定である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	地域自治会長・民生委員・入居者・家族・地域包括職員、ホーム職員・特養職員をメンバーとし、奇数月に年6回の開催が確認された。出席する家族は固定化され、議論の活発化に苦慮しているところである。ヒヤリハット事例の報告、その原因・対応策・職員への周知など、包み隠さず報告して、家族の安心につながる取組を検討している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	行政との定期的な連携・情報交換は現状確認できなかった。延命を希望しない入居者の緊急搬送につき、救急側の受け入れ態勢についての疑問もあり、早急に解決しなければと思っている。	×
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	単体でのホーム便りはないが、法人のホーム便りには掲載されている。家族会はないが運営推進会議には家族も参加している。ただその家族も固定化され、多様な家族の意見を吸い上げられずにいる。訪問時には家族に現状を報告し、家族からは要望も聴取している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	-	-	-	-	○	○
実施年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。